

地域	沖縄県 那覇市	認定日	平成25年10月16日	通巻番号	9 - 25 - 019
----	---------	-----	-------------	------	--------------

①新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

沖縄県産モズクブランド『琉球長寿藻』の海外展開事業

沖縄県内のモズク産地の中でも、品質と安定した生産量で評価が高い伊是名島産のモズクを乾燥加工し、生・塩蔵商品とともに「琉球長寿藻」としてブランド化し、ASEAN諸国を中心に海外展開する事業。

➤ 連携体

農林漁業者 **伊是名漁業協同組合(漁業)**

モズク養殖に適した漁場を活用し、高品質な「洗いモズク」を安定的に供給する。

中小企業者 **(株)新垣通商 (貿易業)**

海外の現地法人及び豊富な海外輸出入の経験等によるネットワークを活用した販路開拓に取り組む。

サポート機関等 **(独)中小企業基盤整備機構沖縄事務所**

➤ 連携の経緯

沖縄のモズクを海外展開するにあたり、ブランディングが重要と考えていた(株)新垣通商は、「洗いモズク」で評価が高い伊是名島産のモズクを自社ブランド「琉球長寿藻」として販売したいと伊是名漁協へ打診した。伊是名漁協は、離島のハンデを克服し、漁家の収入を安定向上させるには、高付加価値化と販売チャネル増加の必要性を感じていた。新垣通商が提案する「1gパックの高品質な乾燥モズク」であれば、付加価値を高め、低コストで、沖縄の長寿食として展開可能と考え、連携して本事業に取り組むこととした。

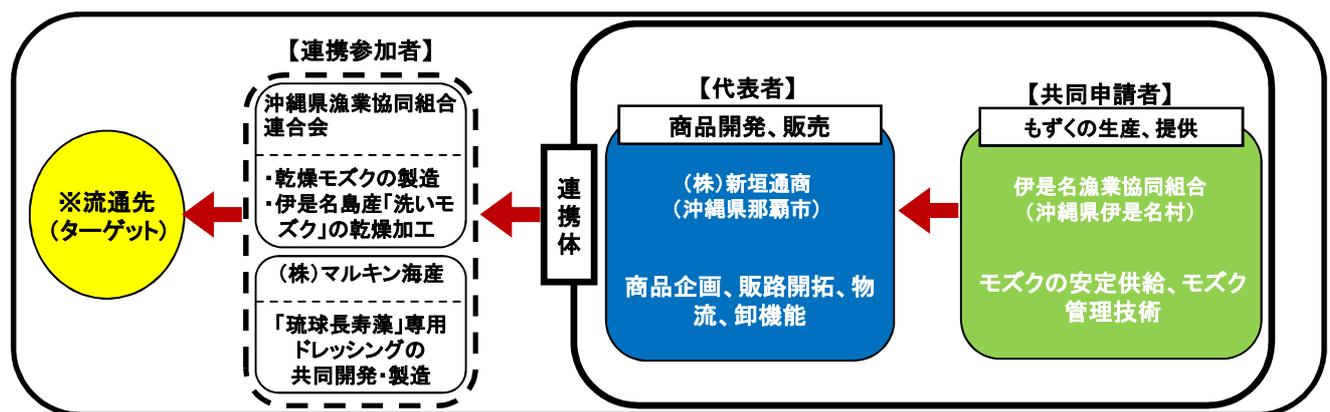


【琉球長寿藻】とドレッシング

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

モズクの乾燥加工は連携者の沖縄県漁連が行うが、市場ニーズの高い「個食」へ対応するためには、乾燥モズクを1g単位でカットした商品が望まれる。しかしながら、コスト面の課題が発生する。県漁連と伊是名漁協とは信頼関係が構築されており、製造面での協力が得られ、コスト低減を図っている。

販売戦略として、モズクを漬けるタレについても、マルキン海産の協力によりその国(地域)の文化や消費者の嗜好に合わせた専用タレを開発し、モズクを食する文化の無い国(地域)にも定着させていく。



➤ 連携による効果

農林漁業者 5年後の事業全体の売上目標は175百万円。本事業に係る売上高目標は17百万円。

中小企業者 5年後の事業全体の売上目標は1,675百万、本事業に係る売上目標は80百万円。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : (株)新垣通商
 T E L : 098-861-3506
 E - m a i l : japan@arakaki-tsusho.co.jp

所在地 : 沖縄県那覇市久米2-11-13
 F A X : 098-864-0305
 ホームページ : <http://www.arakaki-tsusho.co.jp/index.html>